

薬草園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年
7月12日
第46号



ミラクルフルーツ (アカテツ科)

植物の学名は*Synsepalum dulcificum*ですが、和名はまだ決まっておらず、その果実の名称から「ミラクルフルーツの木」などと呼ばれる、西アフリカ原産の植物です。この赤い果実は、見ているだけでも綺麗ですが、口に入れると、果肉に含まれるミラクリンという糖タンパク質が、舌の味蕾に発現している酸味受容体を阻害し、味覚を変えてしまう働きを持っています。例えばミラクルフルーツを口にした後でレモンを食べてみましょう！後から食べたレモンが全然酸っぱくないのです。その代わりに、レモンに含まれる糖分の味で、甘く感じるくらいです。健康の為、ビタミンCたっぷりのレモンが食べられたらいいと思っている方も多くいらっしゃると思いますが、でも砂糖や人工甘味料をふりかけたら、かえって不健康に？そんな時助け船になる果実です。最近ではドライフルーツにもなって流通しています。園の温室前で見られます。

ゴボウ (キク科)

今、園内第3圃場にひとときわ背の高いアザミに似た花が目に入ります。おなじみ、キンピラゴボウの原料にするゴボウです。ヨーロッパ、シベリア原産の宿根草で、縄文時代に日本に伝来し、平安時代から栽培されています。根を食用とするのは日本だけの習慣で、江戸時代に品種改良されて、長根種の「滝野川ゴボウ」がよく栽培されるようになりました。ヨーロッパやアメリカでは根をあくまで薬用として利尿目的に使用します。漢方医学では種子を生薬名、牛蒡子（ごぼうし）という名で辛涼解表薬として用い、消風散や駆風解毒湯などに配合されています。またゴボウの根は民間薬としても、食欲増進、発汗利尿を目的に使用されます。

今、こんな草木が楽しめますよ！